

令和6年度 第2回全国健康保険協会山口支部評議会 議事概要

開催日時：令和6年10月16日（水）14：00～16：00

開催場所：山口県健康づくりセンター

出席者：宇佐美評議員、齊藤評議員、水津評議員、鈴木評議員、中野評議員、永見評議員、波多野評議員（五十音順）

議 題

1. 令和7年度保険料率に関する論点について
2. 令和6年度の事業進捗状況と令和7年度支部事業計画の策定に向けた意見交換
3. その他

1. 令和7年度保険料率に関する論点について

資料に基づき事務局から説明。

《学識経験者》

- ・前提の賃金上昇率が0%や1.6%は低い。国の2030年代半ばまでに最低賃金を1,500円とする目標を前倒ししようとする中で、給与水準の上昇の方向性と異なるのではないか。

《事務局》

- ・保険料収入の将来の推移が予測し難い部分があるため様々な数値で試算を行っている。

《被保険者代表》

- ・5兆2,000億円という準備金は多すぎる。また、適用拡大と解散健保組合の編入に負担が生じる恐れがあるということだが、現在の加入者に対する説明としてこれでよいのか。

《学識経験者》

- ・準備金は赤字の補填にしか使えない理解でよいか。

《事務局》

- ・省令で準備金は赤字の補填のときに使うように定められている。

《被保険者代表》

- ・そうであれば、保険料率を下げ準備金を減らしていけばよいと思う。

《事業主代表》

- ・10年間評議員をやってきて、これまでも長期のシミュレーションを見てきたが、収支が上振れして準備金が積みあがっている。加入事業所の事業環境は厳しく、保険料率の引き下げを行っても協会財務の健全性が極端に厳しくなることはないと思われる。

《学識経験者》

- ・資料が毎回同じような作りで10%維持を前提としたものに思える。見込みの上振れが続き、毎年、準備金が積みあがってきている現状を踏まえると、保険料率を引き下げるべきである。

《事業主代表》

- ・保険料率をこの場で決められるものではないので、保険料率を全支部一律10%固定にしたらどうか。将来の収入の予測が難しいのであればなおさら10%固定にしたらどうか。また、準備金は赤字の補填にしか使えないのであれば、赤字にして準備金を使ってもよいのではないか。

《被保険者代表》

- ・毎年山口支部の保険料率は10.2%あたりで推移している。過去の平均を上回らないように設定をしていただきたい。

《事業主代表》

- ・いつも収入と支出があって累計で準備金の記載しかないが、準備金は、貸借

対照表でいう資産勘定ではどうなるのか。準備金はどこに保管しているのか財産をオープンに公表してほしい。

《事務局》

- ・ 毎期事業報告書は公開されており、貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書の 3 表は作成されている。準備金は純資産の部に法令に定める準備金とし、現預金として流動資産に記載されている。

《事業主代表》

- ・ 法定準備金をはるかに超えて積みあがっている現状を踏まえると、保険料率の引き下げ時期は遅すぎるくらいではないか。

《被保険者代表》

- ・ 10 年先の準備金のマイナスを強調されているがこれは 1 つのシナリオである。直近の実績をみても予算から実績は大きく上振れしており、単年度、もしくは 2～3 年の収支の動きの中で判断してよい時期ではないか。

《学識経験者》

- ・ 山口支部評議会の意見をまとめておきたい。平均保険料率 10%について引き下げか、維持か多数決をとりたい。

→平均保険料率 10%について、引き下げ 6 名（うち 1 名欠席しているが事前に意見聴取）、維持 2 名、うち 1 名が平均保険料率を 10%に賛成だが、全支部一律の保険料率にすべきという条件付き。

2. 令和 6 年度の事業進捗状況と令和 7 年度支部事業計画の策定に向けた意見交換

資料に基づき事務局から説明。

《学識経験者》

- ・ 健康経営の推進や保健指導を増やす努力をさせていただいているといつも感

じている。郵送でのお知らせについて、きちんと届いて見ていただけているのかが重要になる。郵便料金が上がり、届く日数も以前よりかかっている。協会けんぽではメルマガを活用しているように、コスト増を抑えることも必要で、個々人へのアプローチの仕方が郵送だけでよいのかと感じる。

《事務局》

- ・今年度より全支部で LINE を用いた広報を始める。山口支部でも準備が出来次第始める予定。月 2 回の配信予定で健康情報や支部から提供できるものを配信していきたい。

《学識経験者》

- ・いろいろなツールを使いながら発信することはすごく大事で、良い取り組みをされているが、内容が伝わってないと感じている。もっと広報、周知に工夫とお金を使って、積極的に取り組んでいただきたい。

3. その他

なし

以上